

平成 29 年度 霞が関働き方改革推進チーム会議（第 2 回）議事概要

○日時：平成 29 年 10 月 13 日（金）14:00～16:30

○場所：中央合同庁舎 8 号館 6 階 623 会議室

○概要

前半は、第 1 回会議で設定した問と策定した活動計画の再確認を行い、議論の方向性を確認した上で、後半は、各グループで議論を実施した。

（グループ①：組織のパフォーマンス向上に向けたマネジメント改善）

問をさらに具体化し、「理想の管理職像とは何か」「その像に当てはまるような行動が十分に行われていないとすると、それは何が原因か」「理想の管理職になるための方策（解決策）は何か」と設定した上で、評価の仕組み等を含めた理想像を実現するための手段やツールを検討していくこととした。次回は、自らの省庁の多面観察の取組などについて報告・共有し、それを踏まえて、対応策を考えることとした。

（グループ②：柔軟な働き方と勤務時間管理）

「国家公務員の理想とする「柔軟な働き方」とは何か」「各省庁におけるテレワーク、フレックス制度等の課題は何か。その改善策とはどのようなものか」「国家公務員の勤務制度の改正（特に裁量労働制）が必要か。改正を行うに当たってのクリアすべき課題は何か」という問に沿って、個人や組織の視点から、主に短期的な課題について議論を実施した。次回までに制度面の確認や参考事例の参照などの作業を適宜進め、次回は、現行の公務員制度上の課題（中長期課題）の整理を行うこととした。

（グループ③：業務の削減・効率化）

「どうすれば、業務の削減・効率化を能動的にできるのか」という問に対して、複数の業務に共通する削減・効率化のアプローチを模索するよりは、具体的な業務を想定して議論を積み重ねていくことをメンバーで共有した上で、意思決定プロセスの迅速化・省力化について議論を行うこととした。次回は、意思決定プロセスの迅速化・省力化に向けた具体的な対応策について議論を継続して実施することとした。

以上